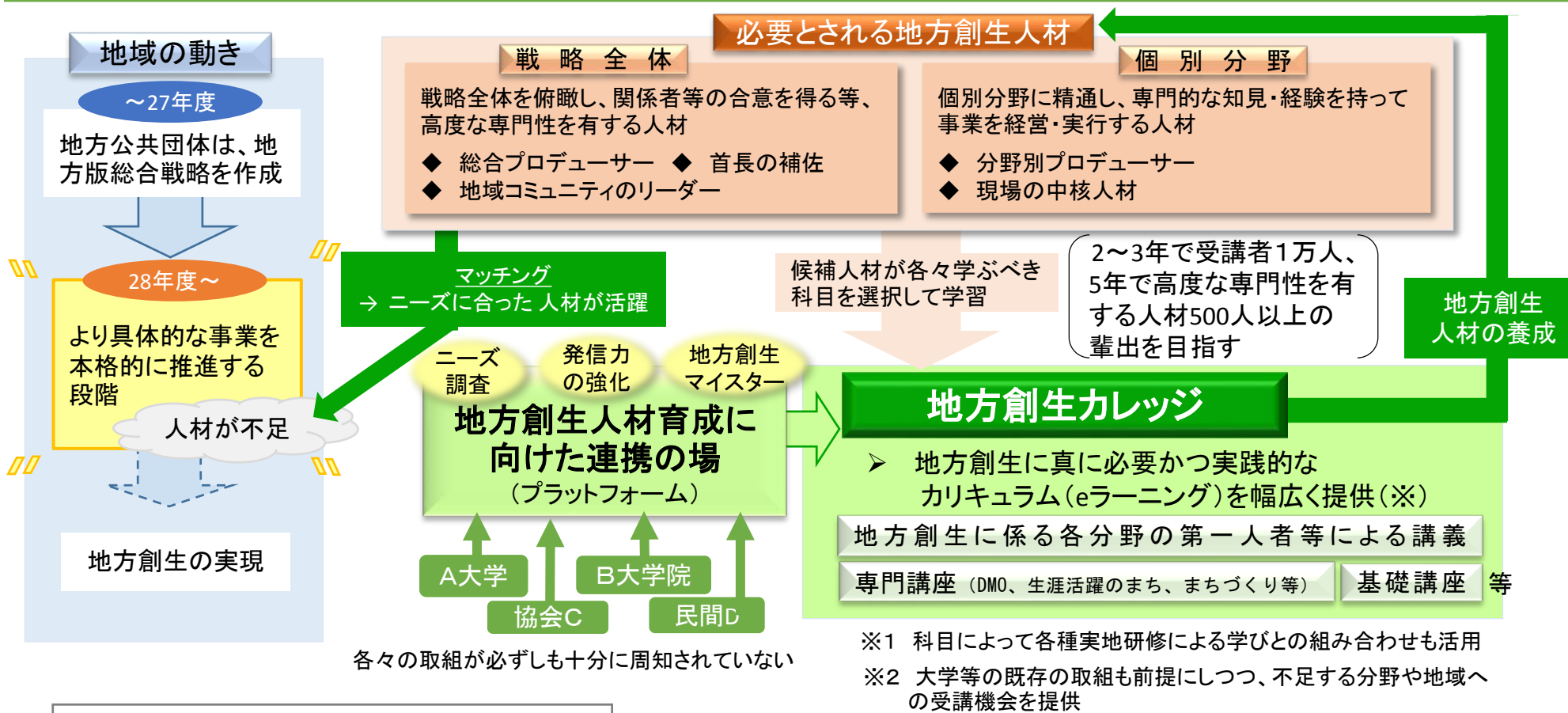
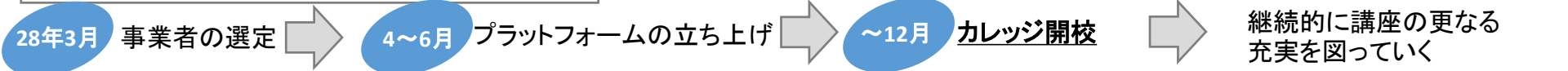


- 現状** : 地方公共団体は、今後、地方版総合戦略に基づき、より具体的な事業を本格的に推進
- 課題** : 事業推進には、高度な専門性を有する人材等が必要となるが、地方では不足しがち
- 方向性** : ① 国が主導し、広く養成機関等の参加を得て、地方創生人材育成に向けた連携の場(プラットフォーム)を形成
② 地方創生カレッジを創設し、地方創生に真に必要なかつ実践的なカリキュラムを整備するとともに、eラーニングにより幅広く提供



スケジュール予定(可能な限り前倒し実施)



※1 科目によって各種実地研修による学びとの組み合わせも活用
※2 大学等の既存の取組も前提にしつつ、不足する分野や地域への受講機会を提供

地方創生カリキュラムの全体構造イメージ

【基本的な考え】

- ・地方創生の深化に向けて、立場や機能に応じた実践的な内容を提供
- ・受講者の担うべき役割・経験、直面したフェーズなどに応じた選択受講が可能
- ・eラーニングを中心に対面・実地での講義・交流機会の提供や各教育機関との連携にも対応

【eラーニング分野】

【対面・実地】

基盤的知識・スキルを深め、役割・分野に応じて要請される専門性(他分野の知識も含む)を追求

分野別プロデューサー

観光・DMO

地域商社

生涯活躍のまち

小さな拠点

⋮

ケーススタディ

総合プロデューサー

総合戦略の策定・管理

事業の構築・推進・管理

資金調達の各種手法

地域産業の振興

⋮

ケーススタディ

地域コミュニティリーダー

住民自治

交流

⋮

ケーススタディ

専門編

スクーリング/
ワークショップ

育成人材と地域の
交流・マッチン
グを図る

活動内容の情報
交換を図る

地方創生関連事業を担う人材が基盤として備える必要のある知識、スキル、概念を学ぶ

地域戦略の策定

データ分析

地方の課題解決

事業の自立性・持続
性確保(資金面含む)

地方創生の
意義・理念

関係者との対話・調整

官民連携

事業戦略の策定

基盤編

基盤編、専門
編、対面・実
地を組み合わせ
ることで、
コースを設定

など

《講座イメージ》
地方創生カレッジ・eラーニング
主なプログラム(ラインナップ)案

基盤編

地方創生関連事業を担う人材が基盤として求められる知識・スキル等を習得

＜地方創生の基本＞

- 【地方創生の理念】
⇒地方創生の今日的意義、KKO(勤、経験、思い込み)からの脱却、地方創生政策5原則(自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視)等
- 【政府の地方創生施策】
⇒政府の総合戦略基本方針、各省庁の地方創生施策、関連支援策(財政支援をはじめ情報・人的支援等)等

他

＜データ分析・戦略の検討＞

- 【データ分析と比較優位】
⇒分析手法の理解、分析結果の活用、分析スキルの習得等
- 【地域経済分析システム(RESAS)を活用した地域分析】
⇒地域の特長・課題の把握、分析結果の活用方法等
- 【事業と財務諸表(3表)との連動】
⇒財務3表(PL, BS, CS)の特徴・相互の関係性、事業の財務諸表への連動(反映)、資金繰りへの影響等
- 【事業推進の根幹となる数値管理】
⇒管理会計、PDCAによる管理等
- 【事業特性の把握と戦略展開(見える化分析手法)】
⇒事業セグメント・製品・顧客別損益分析、投資採算性分析、特性を活かした事業戦略策定等
- 【地域活性化のためのマーケティング戦略】
⇒3C分析(カスタマー、コンペティター、カンパニー)、ブランディング等

他

＜事業化・事業推進＞

- 【事業の創出(起業・創業)】
⇒事業戦略・計画(書)の作成方法、資金調達と財務計画、インキュベーション施設の活用、税と社会保険、人的資源管理等
- 【スケールアップのための事業構想】
⇒競争優位性の考え方、事業の選択と集中等

- 【ローカル企業の生産性向上】
⇒選択と集中、合従連衡、オペレーション改善、人事・組織変革等
 - 【資金の調達】
⇒プロジェクトファイナンス等
 - 【事業のマネジメント】
⇒KPI設定、マネジメントサイクルによる進捗管理
 - 【組織のマネジメント】
⇒リーダーシップ、コーチング、「引き出す」スキル等
- 他

＜官民の連携＞

- 【官民連携の基本】
⇒官民連携とは、相互理解・権限付与の重要性
- 【地方財政の基礎】(民間人材向け)
⇒地方財政の構造、会計の種類、予算編成等
- 【官民連携に当たる公務員の心得】(公務員向け)
⇒企業経営の仕組みや意思決定、予算管理等
- 【官官連携の推進】
⇒地域間連携の有効性と方策等
- 【公的視点からのガバナンスやコンプライアンス】
⇒住民や議会への説明責任、情報公開、個人情報保護等
- 【民民的視点からのガバナンス】
⇒経営者(層)の役割、意思決定の健全化、金融機関との付き合い方、株主への説明責任等
- 【民間人材の地方創生事業への参画促進】

他

＜その他 スキル系＞

- 【問題解決力】
- 【プレゼンテーション力】
- 【指導・伝承力】
⇒部下指導・技能伝承(経験や勘などの暗黙知を形式知に変換)

他

専門編

地方創生関連事業での各役割や主な分野に応じて求められる専門性等を習得

(1) 総合プロデューサー

<総合戦略策定、資金調達>

- 【地域の人口と経済】
⇒人口推計の仕組み、人口推計の読み方、地域経済への影響、対応策（移住・定住、出生率向上）と優先順位の考え方 等
- 【地域の産業構造分析】
⇒各種統計の理解と読み方、総合戦略策定などへの活用手法 等
- 【地域における資金調達】
⇒地域金融、クラウドファンディングの仕組み、クラウドファンディングやふるさと納税を通じたファンづくりの事例 等

<戦略の事業化(一部)>

- 【移住・定住施策】
⇒移住者のニーズ把握、受入側の体制整備（しごと、住）等
- 【地域の中小企業・産業振興策】
⇒経営戦略、地域企業の商流分析、効果的なインキュベーション、効果的なビジネスマッチング・マーケティング 等
- 【地域産業の面的スケールアップ】
⇒企業連携、市場の拡大・事業拡充 等

他

(2) 分野別プロデューサー

≪観光・DMO分野≫

- 【魅力ある観光地域づくり】
⇒地方創生における観光の役割、地域一体となった観光地域づくり、世界の観光 等
- 【DMO入門・初級編】
⇒背景、基本的な機能・役割、マーケティングとマネジメントの基本的な考え方 等
- 【DMO特別講座】
⇒実践者によるDMOの実証的な解説 等
- 【国内・海外の事例紹介】
⇒国内外の先進事例の紹介・分析 等
- 【観光地域づくりのための人材育成】
⇒現場を支える中核人材の必要性とその育成法 等

- 【マネジメントの推進】
⇒観光推進体制づくり、関係者の合意形成 等
- 【マーケティングの推進】
⇒日本版DMOに重要なマーケティングの基礎知識、RESASの活用 等
- 【商品の開発・販売】
⇒歴史的・文化的な観光資源の価値評価、着地型観光の商品開発ノウハウ、販売手段 等
- 【効果的なプロモーション】
⇒集客に結び付けるプロモーション/WEBの活用 等
- 【インバウンドの対応】
⇒インバウンド受け入れ整備/ムスリム対応 等
- 【ニューツーリズム】
⇒産業観光、エコツーリズム、医療ツーリズム 等

他

≪その他の分野≫

- 【地域商社】（ローカルブランディング、効果的な情報発信手法）
- 【まちづくり】（都市計画、公共空間・不動産活用、公共施設マネジメント、シティマネジメント、コンパクトシティ）
- 【生涯活躍のまち】
- 【リノベーションによるまちづくり】
- 【エリア・マネジメント】
- 【小さな拠点】
- 【PPP（官民パートナーシップ）・PFI】
- 【スポーツビジネス】（Jリーグなどの地域プロスポーツの経営）
- 【鳥獣害対策】（ジビエ利用なども含む）
- 【ICTを利用したしごとづくり】

他

(3) 地域コミュニティリーダー

- 【地域コミュニティの再生・構築】
⇒重要性、にぎわいづくり、まちづくり・ひとづくり・しごとづくり、各地の取組み・成功例 等
- 【地域コーディネーターの役割】
⇒地域の資源・人材の発掘、推進体制づくり、地域リーダー論 等
- 【地域おこしと商業】
⇒地域における商業の役割、商業を活かす創生・その事例 等
- 【ソーシャルビジネスとNPOマネジメント】
⇒ソーシャルビジネスの意義、財源の確保 等

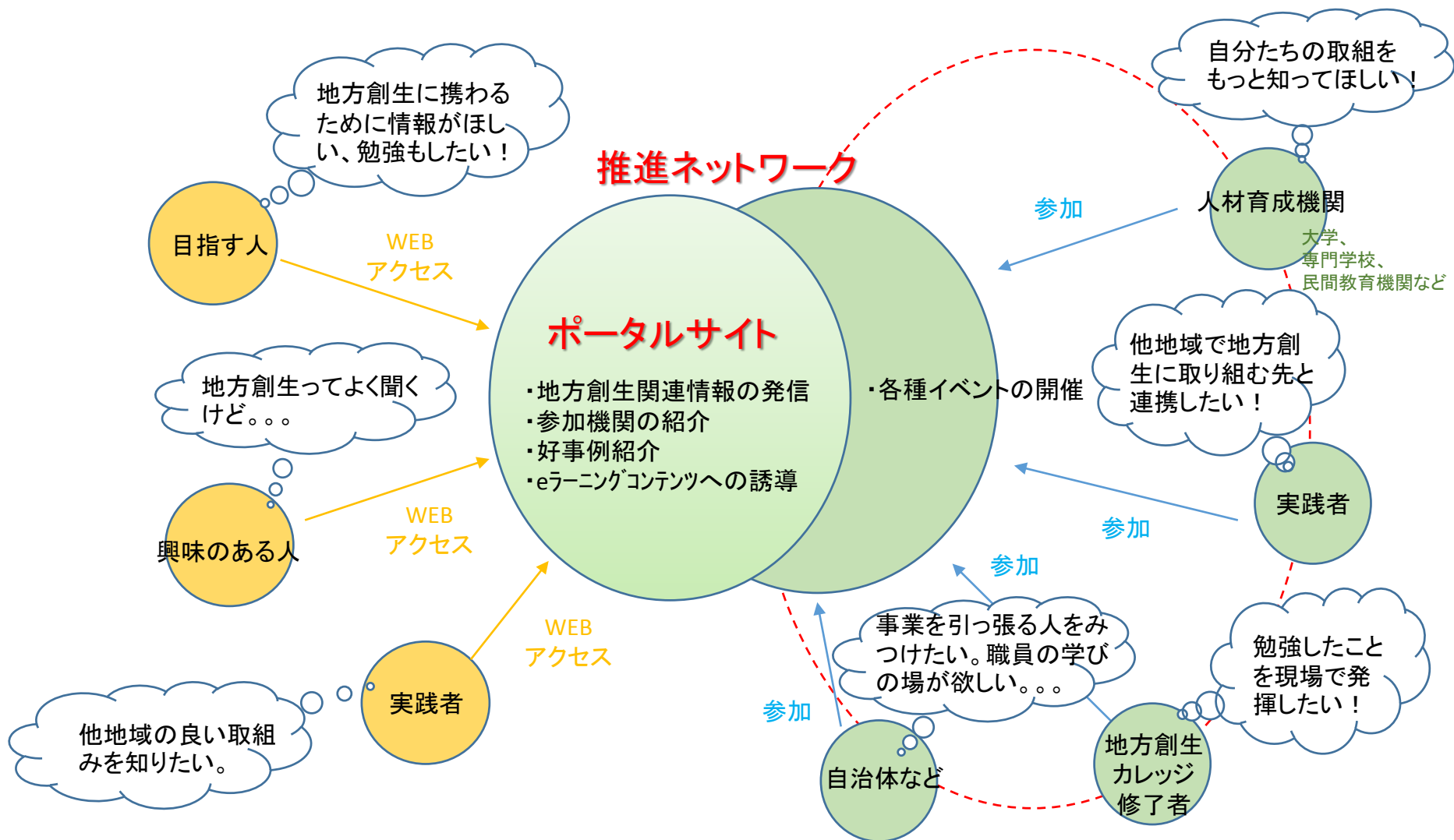
他

以上

(仮称)「地方創生カレッジ」推進ネットワーク(プラットフォーム)について

【主な機能】

- ①地方創生に携わる人材の育成に取り組む関係者の取組に一覧性を持たせる ⇒ **発信力の強化**
- ②関係者のネットワーキングの「場」 ⇒ **修了者・指導者・実践者の連携、マッチングへ**



➡ ポータルサイト等の発信力を高め、広告料、手数料、会費などによる自立を目指す